

導電性熱転写リボンで画期的オンデマンド電子回路形成が可能に

平成 17 年 10 月
ゼネラルテクノロジー(株)

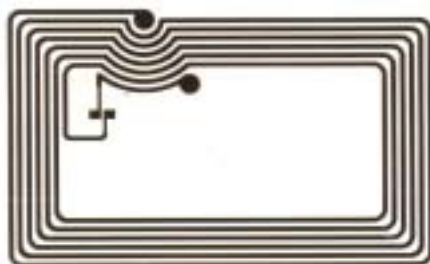
1 導電性熱転写リボンとは

近年 RFID 技術による IC タグが注目を集めており、物流分野などで使用され始めていますが、まだまだ広く普及するにはコストが高いなどの問題点があるといわれています。われわれは従来のフォトリソグラフィエッチング法に代わって熱転写方式により短納期、低コストでフィルムアンテナを製造する方法を開発しました。このフィルムアンテナ製造のため使用されるのが導電性熱転写リボンです。

平成 17 年 9 月 14 日～16 日の東京における自動認識展では、RFID 用アンテナパターンを実際にプリンターにて印字し、多くのお客様から好評を頂きました。海外においても、当社技術開発部が 9 月 22 日の米国ボルチモア市における NIP (Non Impact Printing) 学会にて論文を発表、大きな反響を呼びました。

この、熱転写方式を用いた場合、従来のフォトリソグラフィエッチング法による電子回路形成のコストを大幅に削減でき、多品種少量生産および短納期化が可能になります。

(フィルムアンテナ)



2 期待される用途

IC タグ、カーナビゲーションシステムのフィルムアンテナ、リモートコントローラやフレキシブルコネクタの回路ボード等。

3 従来の方式との比較

	フォトリソグラフィエッチング法	熱転写方式
多品種少量生産	×	○
リードタイム	×	○
環境面	×	○
コスト	△	○

以上